# 一日も早く活動を再開して みんなに笑顔になってもらいたい

**マムソウルとは**

平成19年に発足し、栃木県北部を中心に活動しているファミリーブラスバンドサークル。育児中のママさんが中心となり、現在はパパさんや子どもたち、学生など50名が所属する。サークル名には、ママさんの心の温かさと魂で演奏しようとの思いが込められている。

＜那須塩原市の印象は？＞

◆塩原・板室温泉や那須ガーデンアウトレットといった観光地をはじめ、何でも近場にあるため便利です。新幹線やインターチェンジもあり住みやすいと思います。

◆県北で那須塩原市だけが公民館を無料で貸してくれるので、生涯学習やコミュニティ活動がしやすいまちだと感じました。公民館の対応も素晴らしいです。

◆お母さんと子どもに優しいまちです。

＜入団したきっかけは？＞

◆娘がブラスバンド部におり、親子で吹奏楽をしましょうと団長から誘っていただき、入団しました。数十年ぶりにまた楽器に触れています。

◆高校以降は全く音楽に触れておらず、子育て中も孤独だったので、仲間が欲しくて入団しました。

◆結婚・転勤を機に移住しましたが友人がおらず、仲間が欲しいと思ってマムソウルの演奏会に足を運びました。子連れでも練習参加可ということで入団しました。

＜入団して良かったことは？＞

◆仕事や家庭でイライラしても、練習をするとスッキリします。「人生の生きがい」ぐらいに感じています。



# あまり議員と接点がないので 良いことも悪いこともわからない

◆演奏会で会場を満員にすることは凄く大変なのですが、マムソウルはいつも満員なんです。こんなに市民に愛されている団体ってすごいなと感じています。

◆子どもと一緒に舞台に出られて、子どもも楽しんでくれることです。マムソウルでの経験で、子どもは舞台が大好きになりました。親子で楽しんでいます。

＜演奏活動で一番印象に残ったことは？＞

◆0歳の子どもをおんぶして演奏したことです。子どもはたくましいです。よく眠っていました。

◆訪問演奏をしているときです。子どもたちの反応がすごく良いと、こっちまで盛り上がってきます。場が一体になる感じ。

◆初めての黒磯文化会館大ホールでの演奏で、緞帳（どんちょう）が開いた瞬間です。観客の歓声と満席の光景に感動しました。涙が出る思いでした。

＜子育てと活動を両立する上で工夫していることは？＞

◆子どもと一緒に練習に参加するため、家事を効率よく行うことです。

◆子どもが練習中にお腹がすかないようにおやつを用意しています。また、練習に飽きないように玩具の用意や読み聞かせなどのイベントを行っています。

＜コンサートの曲目や演出を決めるときに心掛けていることは？＞

◆会場の人たちを巻き込んで、最後まで飽きずに笑顔でいてくれるように、お互いに楽しめるようなコンサートにしようと心掛けています。

＜市議会の印象は？＞

◆議会だよりを見て、自分の地域のことを話題にしてくれているのを見ると、地域のことをよく考えてくれていると思います。

◆このような機会をつくっていただき、市民に発信してくださることを大変うれしく思います。